

伽羅のクリスマスコンサート

琵琶×能管で聴く聖夜の物語 2023

2023年12月17日(日) 開演 14時 & 17時

(各回開演の30分前に開場)

デュオ伽羅

川村 旭芳 (筑前琵琶)

野中 久美子 (能管)



プログラム

琵琶で語るイエス・キリスト生誕物語

『貴き清らかなこの夕べ』(作詞/野中久美子 節付/川村旭芳)

琵琶&能管『神の国』(作詞/W.ヴォーリス 作曲/伽羅)

能管『主よ人の望みの喜びよ』(原曲/J.S.Bach)

そのほか

《会場》大船鉾会所 京都市下京区新町通四条下る四条町 355 番地

阪急烏丸駅・京都市営地下鉄四条駅から徒歩 4 分

《入場料》前売 ¥2,500/当日 ¥3,000 (スパークリングワイン付き)



《デュオ 伽羅》^{きゃら}

筑前琵琶奏者の川村旭芳と能管奏者の野中久美子によって2002年に結成されたデュオ。空気を切り裂いて進むような能管の音と、嫋々と響く琵琶の音が、時に交じり合い、時に拮抗し合いながら、独特の音世界を織り上げてゆく。2005年開催の愛知万博「愛・地球博」、2013年出雲大社式年遷宮奉祝行事を始め、各種イベント・行事などに出演。神社・仏閣・キリスト教会から町家・銭湯まで、人の集まる様々な場での演奏活動を展開している。

写真は笙奏者 田島和枝さんをゲスト演奏者に迎えて行ったクリスマスコンサート
(カトリック奈良教会 2018年)より



川村旭芳 (かわむらきよくほう) 筑前琵琶

8歳の頃、筑前琵琶日本旭会 総師範 故二代柴田旭堂師に入門。現在、筑前琵琶日本旭会 師範。古典曲を継承しながら、新作の創作にも取り組む。箏・尺八・胡弓などの演奏家4人で2004年に結成された和楽器ユニット「おとぎ」代表。NHK-FM「邦楽のひととき」他、テレビ、ラジオに出演。動画投稿サイトYouTubeに「きよくほうチャンネル」を開設、ミュージックビデオなど公開中。

公式サイト <http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



野中久美子 (のなかくみこ) 能管

1986年、国際基督教大学 (ICU) 教養学部卒業。能管を松田弘之師 (能楽笛方森田流) に師事。ソロ活動に加えて、世界の様々な楽器や舞・朗読・演劇との共演も行い、能管のもつ力感や情動性など楽器の特性を生かした新しい作品を創作している。「風迢舎」主宰。パーカッション奏者の渡辺亮とデュオ《東西妖怪譚》、ダンサーのハイディー・S・ダーニングとデュオ《Sakura-la》としても活発に公演を行っている。

伽羅のクリスマスコンサートプログラム

琵琶で語るイエス・キリスト生誕物語 ～能管&ポルタティブとともに～

『貴き清らかなこの夕べ』 (作詞/野中久美子 節付/川村旭芳)

琵琶&能管『神の国』 (作詞/ウィリアム・M・ヴォーリズ 作曲/伽羅)

琵琶語り『噫無情』～レ・ミゼラブルより 銀の燭台～ (ハイライト)

(原作/ヴィクトル・ユーゴー 作詞/河東素芥庵 作曲/三世橘旭翁)

琵琶語り『徳川家康公 御遺訓』 (原文節付/川村旭芳)

能管『主よ人の望みの喜びよ』 (原曲/J.S.バッハ)

大船鉾会所



阪急烏丸駅・京都市営地下鉄四条駅から
徒歩4分

大船鉾保存会
公式サイト



野中久美子
公式 Facebook



川村旭芳
公式サイト



主 催：風迢舎
協 力：大船鉾保存会/大船鉾囃子方
楽器協力：木創舎 (ポルタティブパイプオルガン)